

# 公益社団法人奈良市シルバー人材センター

## 令和5年度事業計画

今年度においては、10月に施行される消費税制度の適格請求書等保存方式「インボイス制度」が導入されるなど、シルバー人材センターに与える新たな税負担は運営上の大きな課題となり、的確に対応していく必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の5類感染症に位置付けることを決定されましたが、当センターに置きましては、引き続き感染対策を講じて会員皆様の健康に留意しながら、令和5年度における目標と具体的な事業の方向性を定め、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、就業会員の高齢化等も踏まえ、高齢者の受け皿並びに社会の担い手として実践できるよう、会員・役職員が一丸となって普及啓発・会員拡大・安全就業に努め魅力ある組織を目指して、以下の重点事業を推進します。

1. 具体的な目標値の設定
2. 会員拡大・就業会員確保育成・普及啓発
3. 安全就業・適正就業の徹底
4. 組織体制強化
5. 財源確保の取り組み

### 1. 具体的な目標値の設定

会員数	1,650人
契約金額（受託事業）	325,700,000円
手数料収入（派遣事業）	10,200,000円
（紹介事業）	300,000円
就業率	75%

## 2. 会員拡大・就業会員確保育成・普及啓発

需要の多い職種の講習会を実施し、就業会員の確保・育成に努めるとともに、地元商店街と協賛しフレンドリーショップの充実・拡大を図り、各種イベント等に積極的に参加して、幅広く効果的な普及啓発活動を推進します。

### 会員の拡大

- ① 夫婦会員制度・プラチナ会員制度の活用（会費割引制度）
  - ・夫婦での会員登録の促進 ※令和5年3月末現在 93組
  - ・プラチナ会員への切り替え、会員退会抑止  
元気なうちはいくつになっても活躍できる社会の実現に向けて  
※プラチナ会員 ※令和5年3月末現在61人
- ② 入会説明会等を活用したシルバー事業のPR  
女性部の手作り教室の紹介や、活動内容の説明
- ③ シルバーフレンドリーショップの取り組み  
(会員福利厚生・退会抑止の取り組み)

シルバーフレンドリーショップ（会員優待割引制度）とは、シルバー人材センターの「会員証」を提示するだけで、協力いただいている協力店（小売店、飲食店、宿泊施設、レジャー施設等）で商品の割引、粗品の提供などを受けられる事が出来るサービスです（会員の福利厚生及び地元商店活性化事業）

### 就業会員確保育成

- ④ 人材育成事業に協力し、技能講習及び就業体験の実施
  - ・剪定スタッフ講習（10月実施予定）
  - ・施設管理員講習（10月実施予定）
  - ・保育施設スタッフ体験講習（11月実施予定）
  - ・カート回収スタッフ体験講習（1月実施予定）
- ⑤ 需要の多い職種の会員育成・増強
  - ・除草、草刈り作業員の確保育成及び就業体験の実施
  - ・清掃作業等の就業会員確保及び、急な欠員等が発生した場合の協力体制の検討（近隣就業会員や、同職種の就業会員が協力出来る体制の構築）
- ⑥ 空き家管理事業の拡大
  - ・奈良市等連携し、「空き家見守りサービス」の受注拡大

### 普及啓発

- ⑦ 各種イベントに参加しての普及啓発活動の実施
  - 平城宮跡クリーン大会 4月／もいちど夜市 もちいどの商店街 5月
  - ・秋燈花会 8月／鹿の愛護会交流イベント 11月／ならマラソン 12月
- ⑧ 普及啓発促進月間（10月）の「シルバーの日」に社会奉仕活動の実施  
JR奈良駅・近鉄新大宮周辺 清掃ウォーク
- ⑨ 就業開拓員等による、公共団体・既存取引先等へ就業開拓活動の実施

- ⑩ 広報誌「わかくさ」の発刊
- ⑪ ホームページ・Facebook の充実を図り、事業啓発・利用促進・会員募集
- ⑫ 市広報誌「しみんだより」の積極的な活用  
入会説明会情報 毎月 / シルバー事業PR広告 4月・10月予定
- ⑬ 公共施設等における啓発活動の実施
  - ・市役所内モニターを活用したPR動画の放送（5月～10月）
  - ・啓発ポスター及び女性部作品の展示（市役所・北部会館・シルキア奈良等）
- ⑭ スマートフォンを利用した情報発信の充実（LINE）
- ⑮ 会員募集・就業開拓用チラシの配布（チラシ配布サポーター）
  - ・高齢会員や、就業機会の少ない会員に協力を依頼し、活躍機会の提供とセンターPRの充実。

### 3. 安全就業・適正就業の徹底

シルバー事業において安全で適正な就業は、基本となるものであり、会員のあらゆる事故防止に努めるとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を継続しながら「事故ゼロ」・「適正就業」を目標に取り組みます。

- ① 安全就業委員による、就業先への安全パトロールの実施
  - ・事故が多い職種を中心に、パトロールを実施し安全意識向上に努める。
- ② 会員状況調査において、健康状態の確認
- ③ 剪定・除草班会議において、事故防止啓発活動
- ④ 除草会員・派遣会員への刈払機及び自走式草刈機の安全操作講習の実施
- ⑤ 派遣会員対象の資質向上の講習会の実施
- ⑥ 発注者及び就業会員に対して適正・安全就業の周知徹底
- ⑦ 県協議会実施の安全・適正就業講習会での情報交換
- ⑧ 自転車ヘルメットの着用促進及び呼び掛け
  - ・今年の4月から全年齢でヘルメットの着用が努力義務化に伴い、ヘルメット着用の声掛け運動の実施。

### 4. 組織体制強化

シルバー人材センターの「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、役職員体制の強化及び会員組織の構築に努めて参ります。

また、生活のあらゆる場面にデジタル化が浸透しており、シルバー事業においてもデジタル技術（メール・LINE等）を取り入れた事業運営を進めます。

- ① シルバー事業の理念「会員の自主的な運営」・「共働・共助」、会員の方が主役になれる組織体制の構築
- ② 将来を見据えた役職員体制のあり方についての検討

- ③ デジタル化強化への取組
  - ・スマートフォン・メール・LINE等を活用した情報提供
  - ・メールを活用した連絡調整及び就業報告
  - ・入会説明会等を活用したスマートフォン操作説明
- ④ 地域班組織の今後のあり方についての検討
  - ・地域班班長会議の開催
  - ・会員状況調査時に参加意識の確認
- ⑤ お手軽利用サービスの事業見直し
  - ・奈良市等と連携し、今後の事業展開のあり方について協議
  - ・新たな体制づくりと作業料金の見直し
  - ・協力サポーターの確保
- ⑥ 剪定・除草業務の受注方法の見直し
  - ・剪定・除草会員の担い手不足や高齢化に伴い、適正な受注件数及び受付方法の検討
- ⑦ 女性部の充実
  - ・センターの女性会員の割合が33%となっており、今後の会員拡大には、特に女性会員の獲得が必要であるため、「シルバー女性部」と連携し、様々な啓発活動の実施

## 5. 財源確保の取り組み

インボイス制度導入に伴い、大きな課題となる税負担に向けて、財政状況を分析の上、業務実施方法等（デジタル化）の見直しを行い、事務経費等について経費縮減等効率的な運営をし、自主財源の確保に努めて参ります。

- ① インボイス制度に伴う税負担の為、事務費率の見直し
  - ・今年の10月から導入されるインボイス制度について、令和11年度まで段階的に事務費率の改定
- ② 積極的な啓発活動による事務費収入の増収
- ③ 労働者派遣事業の積極的な取り組み及び派遣手数料の見直しの検討
- ④ 職業紹介事業の積極的な取り組み
- ⑤ 国・奈良市に対して支援・協力要請
- ⑥ 特定公益増進法人（寄付金活動）の積極的な活用
- ⑦ 事業全体の費用対効果の検証及び見直し及びデジタル化への切り替え検討
  - ・Webを活用した受注や入会申込の導入の検討
  - ・アナログからデジタルへの情報発信の切り替え準備